

# 石巻専修大学

石巻専修大学「ホームページ」 <http://www.isenshu-u.ac.jp>

代表電話番号  
**0225 (22) 7711**  
広報専用FAX  
**0225 (22) 7809**

## 全日本中国語スピーチコンテスト宮城県大会

全日本中国語スピーチコンテスト宮城県大会(宮城県日中友好協会主催)が11月7日、仙台市青葉区の東京エレクトロホール宮城(宮城県民会館)で開催され、本学の菊池友香里(経営4・宮城県志津川高)が写真賞を受賞。昨年に続き朗読の部(中級)において2位に入賞した。

菊池さんは輪田直子理工学部准教授、富里京子非常勤講師の指導と茶道部とともに活動する中国・温州大学からの交換留学生・施奇菡さんのアドバイスを受け、大会に臨んだ。「入賞できたのは先生方と施さんのおかげです。他の参加者も懸命に勉強して大会に臨んでいることを知り、良い刺激になりました。挑戦して本当に良かったと思います」と感想を述べた。

# 2年連続で菊池さんが「朗読の部(中級)」2位入賞



賞状を手にした菊池友香里さん(経営4)

## 自動車整備コンテスト

# 3チームが上位入賞

(社)自動車技術会の東北支部学生自動車研究会に「スト」が10月30日、仙台市のトヨタ自動車東北事務所を東たした。また、菅原達也さん(理工4・宮城県石巻市)が10月30日、仙台市青葉区(理工4・宮城県石巻市)で実施された。また、菅原達也さん(理工4・宮城県石巻市)が10月30日、仙台市青葉区(理工4・宮城県石巻市)で実施された。



健闘したメンバーたち。理工学部機械工学科自動車工学科コースで学ぶ学生が、出場し、服部和也さん(理工4)が4位と大いに健闘した。

# 新就職氷河期を乗り越える!

### 4年次生内定者の体験談聞く



先輩の体験談を聞き、熱心にメモを取る3年次生たち

本格的な就職活動を前に控え、3年次生を対象に、解析、液体判別、ドライプリンタによる安全運転診断、自動車部品の寸法測定という4種類の実技試験の総合点で順位を競った。3チームはともに学内で高得点をマークし、上位に入賞した。

「地域ブランドの形成を研究テーマとする経営学部の石原慎士准教授が発起人として名を連ねている「河北まちづくり研究会」が、石巻市の北上川に面した飯野川商店街の活性化イベント開催

石原准教授は研究会のメンバーである飯野川商店街の店主らと町の歴史や風俗などを学び、活性化につながるヒントを考察。古い旅館や昭和期から売られている商品があることから、「懐かしさ」を核とした活性化策を見出した。

イベント当日は、訪れた人々に商店街の魅力を見せたいと、懐かしさを演出した。石原准教授は「今後も活動を続け、将来的にはイベントの規模も大きくしたい」と意欲的だ。

山崎教授の出前授業「華麗に老い、生きるために」を受講。今年度は楽しく汗を流せる運動を教えるという希望があり、実現した。山崎教授は日常生活でだれもが簡単にできる運動を紹介。「これなら自分でも普段からできそう」と受講生からは好評だった。

山崎教授の出前授業「華麗に老い、生きるために」を受講。今年度は楽しく汗を流せる運動を教えるという希望があり、実現した。山崎教授は日常生活でだれもが簡単にできる運動を紹介。「これなら自分でも普段からできそう」と受講生からは好評だった。

同コンテストは自動車に関する知識を深める場として開催され、今年で25回目。2人1組のチーム戦で、今回は本学のほか、秋田県立大学、山形大学、東北学院大学から15チームが参加した。学科試験と灯火装置回路の

「全国大学対抗簿記大会2010年秋季大会」に全国18会場(137大会場)の大会、大原大学が3666人参加した。

石巻会計研究会が健闘。木幡さん(個人戦2級)、庄司さん(同3級)優勝

「地域ブランドの形成を研究テーマとする経営学部の石原慎士准教授が発起人として名を連ねている「河北まちづくり研究会」が、石巻市の北上川に面した飯野川商店街の活性化イベント開催

石原准教授は研究会のメンバーである飯野川商店街の店主らと町の歴史や風俗などを学び、活性化につながるヒントを考察。古い旅館や昭和期から売られている商品があることから、「懐かしさ」を核とした活性化策を見出した。

イベント当日は、訪れた人々に商店街の魅力を見せたいと、懐かしさを演出した。石原准教授は「今後も活動を続け、将来的にはイベントの規模も大きくしたい」と意欲的だ。

山崎教授の出前授業「華麗に老い、生きるために」を受講。今年度は楽しく汗を流せる運動を教えるという希望があり、実現した。山崎教授は日常生活でだれもが簡単にできる運動を紹介。「これなら自分でも普段からできそう」と受講生からは好評だった。

山崎教授の出前授業「華麗に老い、生きるために」を受講。今年度は楽しく汗を流せる運動を教えるという希望があり、実現した。山崎教授は日常生活でだれもが簡単にできる運動を紹介。「これなら自分でも普段からできそう」と受講生からは好評だった。

## 大津教授が「カタカナ語 目からうろこ」刊行

180語を収録、特徴ごとに分類し語源紹介

経営学部の大津幸一教授がこのほど、新著「カタカナ語 目からうろこ」を河北新報出版センターから刊行した。

「英語を学び、教える」が常に「日本語」を意識してきた私にとって

「カタカナ語」は外国語と日本語の「接点」ともいえる。興味深いテーマとして大津教授の本

「輪」をテーマに全8曲を演奏

吹奏楽研究会・定期演奏会